

ゆりかご



理念

中津市民病院は、東北地域の基幹病院として、他の医療機関と連携・協力しながら施設・医療機器を整備し、市民のみなさんの健康増進に努めています。



新病院完成イメージ（平成24年完成予定）

目次

院長ごあいさつ	2
新任医師紹介	3
産科の診療再開	5
コミュニティバス運行開始	6
病院新築工事起工式	7
開院10周年記念講演会開催	8
緩和ケアチームについて	9
放射線科最新装置のご紹介	10
院内研修会・研修報告会	11
外来診療担当医表	12

〒871-8511 大分県中津市大字下池永173番地 TEL:0979-22-2480(代表) FAX:0979-24-3839(代表)

ホームページアドレス <http://www.city-nakatsu.jp/hospital/>

病院広報誌「ゆりかご」の 発刊によせて



この度、地域の医療圏の方々を対象に中津市民病院広報誌「ゆりかご」を発刊する運びとなりました。創刊号の発行にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

中津市民病院は、市民病院としてスタートしてから、平成22年7月1日で10周年を迎えました。この間、二度の自治体立優良病院の表彰を受けるなど、着実な発展を遂げてまいりました。そして今、中津市民病院は新病院の建設を機に県北広域医療圏の新拠点として更に大きく生まれ変わろうとしています。この6月には新病院の起工式を終え、平成24年の竣工を目指して現在、工事が進行中であります。

建設の槌音が響く現場に立ち、必ずしも平坦でなかった市民病院の立ち上げから今日までの道程を思うとき、現在を築かれた院内外の関係者の皆様に深甚の謝意を表さずにはおれません。

また、平成22年は産科の再開が現実のものとなった点でも記念すべき年となりました。新しい生命の誕生を祝福できる喜びを職員一同でかみしめております。

なお、新病院には小児救急センターを設置することが決定しております。この構想に向け、現在、これに準じた小児救急体制を試行しており、本院の住民サービスの大きな柱となっております。

現在、当院では、がんの診療にも積極的に取り組んでいます。今後は、がん診療の一層の充実を図るため、院内各科の総力を結集し、時代の要請に応えられるがん集学的治療システムの構築を目指しております。

「人間この未知なるもの」の著者で、ノーベル賞受賞者でもある医学者アレクシス・カレルは“分析は総合してはじめて大きな力をもつ”と述べています。確かに、近代の医学・医療は分化に分化を重ね進歩、発展してまいりましたが、総合という面は重視されていなかったように感じられます。当院におきましては、各科別の診療体制の整備により、高いレベルの医療サービスの提供を行ってまいりました。今後は、これらを総合することにより、さらに質の高い全人的医療が可能な病院にしていきたいと考えております。

このように、当院はこれまでにないCHANGEの真只中にあります。中津市民病院広報誌「ゆりかご」により、この大きな変化と私どもの心意気が皆様に伝わりますれば幸いに存じます。

何卒ご一読頂き、ご意見、ご批判を頂きますと共に、昔旧のご協力、ご理解をお願い申し上げます。

平成22年9月

院長 池田 正仁

新任医師紹介

～今年度から当院に勤務する医師の紹介をします。～



外科
北川 大 (きたがわ たい)

専門：消化器外科

コメント：消化器外科を担当しています。九州大学では肝臓グループに所属しています。話題の高知県出身ですが、今は中津のために一生懸命働きたいと思っています。



内科
岡田 敏子 (おかだ さとこ)

専門：乳腺

コメント：乳腺を担当している岡田です。昨年は九州大学病院で乳腺グループとして勤務しておりました。中津には、5年前にも勤務していたことがあり、縁を感じております。どうぞよろしくお願ひいたします。



消化器内科
金山 兼司 (かなやま けんじ)

専門：消化管

コメント：4月から消化器内科に赴任しました。主に消化管の診療を行っております。ESD、EUS-FNA等の治療内視鏡も行っていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



内科
坂井 洋子 (さかい ようこ)

専門：糖尿病

コメント：4月から赴任しました。坂井洋子です。主に糖尿病の診療をしています。趣味は旅行と、おいしい食べ物巡りです。よろしくお願ひいたします。



循環器内科
藤内 竜夫 (とうない たつお)

専門：循環器一般

コメント：日頃よりたくさんのお褒めな言葉をいただきありがとうございます。4月より久留米大学心臓血管内科より配属されました藤内竜夫です。医師になって4年で循環器内科を専攻して2年目のまだまだ勉強中の身ですので開業医の先生方を始めとした地域の医療従事者の皆様には大変ご迷惑をかけると思いますが何卒よろしくお願ひします。



循環器内科
嶋田 寿文 (しまだ としふみ)

専門：循環器一般
(特に虚血性心疾患、脳血管疾患)

コメント：大分市出身で主な資格は内科学会総合内科専門医、循環器学会専門医、心血管インターベンション治療学会認定医、脳卒中学会専門医です。専門は循環器一般ですが、特に虚血性心疾患や下肢動脈閉塞症 (ASO) の診断、加療 (PCI、PTA) を積極的に行っています。また、脳卒中診療に従事していた経験もあり脳血管疾患の診断、加療も手がけています。今後ともよろしくお願ひします。



小児科
金海 武志 (かなみり たけし)

専門：小児神経

コメント：中津市民病院小児科の金海です。平成22年4月より赴任しています。3回目の中津市民病院勤務となります。よろしくお願ひいたします。



産婦人科
佐藤 新平 (さとう しんぺい)

専門：産婦人科一般

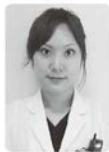
コメント：市民の皆様をはじめ、さまざまな関係機関からの多くのご尽力いただき、一時中止されていた産科を再開することができました。ありがとうございます。実際には7月12日より分娩を再開し、妊婦健診や分娩を希望される方も増えてきています。いままで受診していただいた方も、これから受診される方にも満足していただけるような診療を提供できるように努力したいと思っています。

小児科

川谷 恵里 (かわたに えり)

専門：小児科一般

コメント：一つでも多くの笑顔を見られるようにとの思いで、毎日の診療に従事しています。よろしくお願いたします。



小児科

佐々木 聡子 (ささき ともこ)

専門：小児科一般

コメント：出身は山口県下関です。中津市民病院には私の思った以上に、たくさんのお子さんが来院されています。病気が治ったあとの親御さん、お子さんの笑顔に癒されながら、日々勉強し、しっかり診療していきます。宜しくお願いいたします。



小児科

北野 陽子 (きたの ようこ)

専門：小児科一般

コメント：お子さんの健やかな発育と健康増進のため地域の皆様のためにお役に立てるようがんばります。よろしくお願いたします。



放射線科

村木 俊夫 (むらき としお)

専門：画像診断

コメント：昨年までの業務は画像診断のみでしたが、今年からは病棟や当直業務も含まれており、やりがいを感じながらどうにか日々の業務をこなしている毎日です。日常診療や当直など近隣の先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと考えますが、何卒よろしくお願いたします。



小児外科

三好 きな (みよし きな)

専門：小児外科

コメント：7月から小児外科医として赴任しました三好です。こどもの外科ということで、一般的にはあまり馴染みがない科ではございますが、なにかお手伝いできることがありましたらご連絡ください。あと、美味しいものには目がありませんので、そちらもよろしくお願申し上げます。



麻酔科

今富 良太 (いまとみ りょうた)

専門：麻酔

コメント：以前研修医として勤務しておりましたが、今年の6月から再度中津市民病院勤務になりました。皆様が安心して手術を受けられるような安全な麻酔を心がけております。

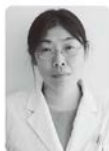


麻酔科

北 佳奈子 (きた かなこ)

専門：麻酔

コメント：趣味：読書・音楽・自転車・編み物。手術を受けられる患者様に、安全な麻酔を提供したいと願っております。


 研修医
 廣瀬
 ひろわたりの
 紫乃

 研修医
 藤本
 ふじもと
 亜弓


コメント：はじめまして。1年間中津市民病院で研修医として働かせていただくことになりました。医師としての最初の年をこの中津市民病院で1日1日大事に過ごしていきたいです。どうぞよろしくお願いたします。

コメント：東海でうまれ北九州で育ち、大学を広島で過ごしました。九州大学の研修プログラムで1年間この中津市民病院でお世話になります。仕事にはまだまだなれず、勉強しなくちゃいけないことばかりですが、皆さんのおかげで今まで何となく研修させていただいています。これからも元気よくがんばります!!どうぞよろしくお願いたします。

産科の診療を再開しました

以前からの懸案であった産科診療業務の再開が、大分大学や大分県・中津市の協力を得て平成22年7月12日から開始される事が正式に決定しました。

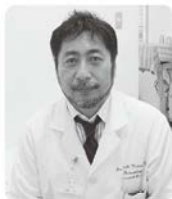
市民病院は従来より小児医療の充実に力を入れていましたが、これに周産期医療も加わる事になりさらに強力な体制となりました。

産婦人科

吉松 淳 特任部長の抱負

「あまり人生を重く見ず、捨て身になって何事も一心になすべし」 福沢諭吉

中津市民病院に産科を再開するにあたってふたつのポリシーを掲げました。まずは「継続性」です。つまり、もう二度と閉鎖すること無いよう、確固とした基盤を持って再開するという事です。そしてもう一つは、「安全性」です。快適であることも大切ですが、まずは安全が担保されていなければなりません。この二つのポリシーを貫いて行きたいと思います。この私たちの考えに深い理解を示して頂き、再開プロジェクトを推し進めて下さった沢山の皆様に心からの感謝を申し上げます。私たちは一心に与えられた職務に身を捧げるつもりでいます。



「全てのゲームは0-0からはじまる」 ヨハンクライフ

中津という街は私たちにとって初めての街です。この初めての街で私たちの冒険が始まります。今の私たちにはまだ何もありません。ここでの私たちはまだ何者でもないので。これから産科医療を通じて中津市の皆さんに認めてもらえるよう、自分達がこれまでに培った全てをここで発揮したいと思っています。

「どこまで行けるか知る方法はただ一つ、出発して歩き始めることだ」 アンリベルクソン

多くの皆さんに支えられて産科診療が再開します。「継続性」と「安全性」という帆を掲げた中津市民病院の産科が今、船出します。この航海が安全で実り多きものになることを信じています。

コミュニティバス豊前・中津線運行開始!

豊前市



市民病院へのアクセス向上

中津市では、「九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、福岡県豊前市と中津市を結ぶコミュニティバスの運行を平成22年4月26日から開始しました。この事業は豊前市との共同事業で行い、豊前市役所と中津市民病院の間を運行するもので、市民病院の通院アクセスの整備による広域医療サービスの充実と両市の経済的連携の強化を図ることを目的としています。

65歳以上の方は、高齢者割引チケットを利用して「東本町バス停」と「中津市民病院前バス停」の区間を100円で乗車することができます。(チケットを利用しない人、割引対象者以外は220円です) 同じ路線で運行されている路線バスにも、この区間で利用できます。また障害者手帳をお持ちの方は半額(高齢者チケットの併用はできません)、小学校入学前の未就学児は無料になります。

みなさんの生活路線として、買い物や通院などお気軽にご利用下さい。



多くの人に見送られて、さあ出発!



第1便が市民病院へ到着

〈問合せ先〉

- 大交北部バス株式会社 電話 (0979) 22-0071
 - 中津市企画課地域振興係 電話 (0979) 22-1111 (内線244)
 - 豊前市総務課交通防災係 電話 (0979) 82-1111 (内線1334)
- ※ 時刻表は中津市と豊前市のホームページでも閲覧することができます。

病院新築工事の起工式が開催されました

去る平成22年6月24日、市民病院新築工事の起工式が、当院敷地内で開催され、関係者約150人が出席しました。

梅雨の晴れ間のなか、厳粛に安全祈願が執り行われ、その後の起工式では、発注者を代表して新貝市長の挨拶、来賓者を代表して横光衆議院議員、大分県知事代理・高橋福祉保健部長、大友県議会議員など多数の来賓より挨拶がありました。

新病院開院は平成24年秋の予定です。ゆとりをもった配置がなされ、災害拠点病院に相應しい免震構造の設計がなされており、患者さまにも喜んで頂けるものと思います。



新貝市長挨拶



穿初（うがちぞめ）の儀



起工式会場

平成24年（2012年）秋に本館完成予定

■ 新病院の概要

- ・ 鉄筋コンクリート造5階建
- ・ 250床
- ・ 小児救急センター併設

開院10周年記念講演会を開催しました!

平成22年7月10日、当院会議室にて開院10周年の記念講演会が開催されました。あいにくの天候で参加者の減少が心配されましたが、モンゴル留学生2名の飛び込み参加など、ハブニングが相次ぎ、例年以上に盛大な会でした。

終了後はインド料理店にて懇親会を行い、大いに盛り上がりました。



開会挨拶 (池田院長)



高熱の中、講演! (合志小児科部長)



～10周年記念講演 演者一覧～

演者	演題
江口大彦 (福岡市民病院)	「リーズナブルな創傷管理をめざして」
吉田大輔 (福岡通信病院)	「政権交代と通信病院」
秋吉清百合 (九州大学病院)	「最近の動向」
八坂謙一郎 (健和宮大寺町病院)	「感染症の2例と近況報告」
合志光史 (小児科部長)	「平成21年度の、小児科における救急搬送の実態とその後方視的検討」
藤岡晴真 (泌尿器科医師)	「中津市民病院泌尿器科手術10年間の動向」
吉松美佐 (3階病棟看護師)	「チーム医療における看護師の役割—依存的性格から活動性低下をきたした養護患者の事例—」

演者	演題
江胡由実子 (3階病棟看護師)	「アロマトリートメントによるリンパ浮腫の軽減効果の検証」
山口千恵 (5階病棟看護師)	「腫部の褥瘡予防用具の作成と除圧の検証」
松本幸子 (4階病棟副看護長)	「【潜在看護師復帰支援研修】のプログラム作成」
吉田まつみ (外来看護師)	「臨床化学療法認定看護師の活動について—一年間の活動報告—」
藤本至弓 (研修医)	「糖尿病ケトアシドーシスをおこした1型糖尿病の一例」
廣澄紫乃 (研修医)	「浴連菌感染症の一例」
清原三幸、竹下優美 (手技研修員、3階病棟看護師)	「オーストラリア緩和ケア研修参加報告」

この他にも、当院で臨床研修を修了された浅井佳央里先生(九州大学病院)・中山智恵先生(九州大学病院)・チエギーさん(済生会八幡総合病院)・スーレンさん(福岡大学病院)にも講演していただきました。

緩和ケアチームについて

当院では、がん等の病気で治療を受けている患者さまやご家族に対し、痛みや吐き気、呼吸困難等の身体症状、あるいは不安・抑うつ等の精神症状の緩和にも積極的に取り組むため、緩和ケアチームを発足させました。

緩和ケアチームは、医師をはじめ、看護師・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・理学療法士等が一丸となって、がんに伴う痛みや精神的な不安に対し治療の初期の段階から積極的に関わっています。

緩和ケアチームのカンファレンスの様子



《緩和ケアチームのメンバーより》

昨年より緩和医療推進委員会が発足し、緩和ケアチーム（医師・看護師・がん化学療法認定看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・医療ソーシャルワーカー）として活動を開始しました。

患者さまやご家族の方が苦痛や不安を感じていることを、少しでも和らげることができ、安心した入院生活を送れるようにお手伝いをさせていただいています。

現在、週1回のペースで、毎月延20名の患者さまを対象にチーム内でカンファレンスを行っています。

またその他に、リンクナースの会を立ち上げ、院内スタッフに向けて月2回の勉強会も企画・開催しています。

《当院の緩和ケア外来は…》

- ※ 毎週水曜日 13時～15時（完全予約制 1日2名）
- ※ 当院通院中の患者さま…担当医師へお申し出ください。
- ※ 他院通院中の患者さま…かかりつけの先生にご相談ください。

かかりつけの先生から診療連携室へご連絡をいただければ、緩和ケア外来の手続きを致します。

放射線科最新装置のご紹介

皆様すでにTV等の報道でご存知の方も多いと思いますが、当院も今年度、待望の最新の放射線治療装置導入が決定しました。思えば国立時代より30年近くコバルトでの放射線治療を行って来て、最新の治療装置導入の必要性は常々思っていました。長い間待ったかいがあって私たちの希望どおりの最新鋭機導入が決定しました。



装置の名前はELEKTA Synergyです。東大病院や熊大病院と同じ装置で、この装置は粒子線治療やγナイフ・サイバーナイフといった特殊な（SRS専用装置）放射線治療機器以外での汎用放射線治療装置としてはまさに時代の最先端に行く最新鋭機です。

この装置の特徴をいくつか簡単に紹介します。

第一にX線・電子線のエネルギーが他の装置に比べて豊富なことです。X線・電子線のエネルギーの種類が多いと言うことは、浅い所にある腫瘍から深いところにある腫瘍まで最適なエネルギーで治療が行え、線量分布などを考慮すると臨床に非常に有効となります。

第二に優れたIGRT（画像誘導放射線治療）機能を有すること。

治療器本体に付属したコンビームCTでkVレンジの撮影を行い、今まで治療ビームのMVレンジでのリアックグラフィーやポータルイメージ画像では確認することが困難であった軟部組織まで判別できるようになり、治療計画時のリファレンス画像と重ね合わせ表示することにより誤差を計算することで患者さまのポジショニングの微妙なズレや腫瘍の縮小や臓器の移動を機械的に自動で修正し、毎回最適な位置での治療が行えます。

第三に最新の高度放射線治療 SRT（定位放射線治療）IMRT（強度変調放射線治療）V-MAT（運動型強度変調放射線治療）等に対応しており、腫瘍にピンポイントで放射線を当てるのが可能です。IMRTとは、マルチリーフコリメーターに連動した多方向からの照射に強度の強弱をつけることで、腫瘍細胞に集中的に放射線を当てる放射線治療法のことです。V-MATは、IMRTを回転しながら行い治療時間の大幅な短縮ができます。

このように現在のコバルト治療とはあまりにかけ離れているため、少々戸惑い気味ですが来春の稼動をめざし準備中です。今まで中津で治療できずに大分や福岡まで行かなければならなかった患者さまが、当院において高度放射線治療ができるようになることは、中津市民病院だけではなく大分県北、豊前行橋地区における放射線治療の質の向上という意味において、大変意義深いことだと思っています。

院内研修会・研修報告会

研修内容	講師		期日
2009年院内感染対策サーベイランスの報告 —手術部位感染 (SSI) 部門—	小児外科医長	橋本佳子	4月1日
第458回日本小児科学会福岡地方会例会	小児科部長	合志光史	4月15日
第98回ICD講習会			
第84回日本感染症学会総会	小児外科医長	橋本佳子	
第98回・第99回ICD講習会			
第1回感染症セミナー	薬剤師	上ノ段友里	
kyushu Gynecology Endoscopic Surgery Seminar	産婦人科医長	弓削彰利	4月22日
九州大学病院内視鏡外科手術トレーニングセミナー			
第2回倉敷セミナー			
第35回日本脳卒中学会総会	循環器内科医長	嶋田寿文	5月6日
院内感染対策講習会	小児外科医長	橋本佳子	5月13日
			5月20日
			5月27日
第47回九州小児科学会	副院長	松尾進	6月3日
第66回放射線技術学会総会学術大会 2010国際医用画像総展	診療放射線技師	川村倫子	
		遠藤洋和	
		保科裕也	
		梅本加奈	
第110回日本外科学会定期学術集会	外科主任部長	岸原文明	6月10日
SSSeminar	外科主任部長	岸原文明	
	外科部長	白水章夫	
第13回抗菌薬適正使用生妊教育セミナー	小児外科医長	橋本佳子	6月17日
第58回日本化学療法学会総会学術講演会	薬剤師	上ノ段友里	
第9回九州川崎病研究会	小児科医師	宮本辰樹	
第53回日本糖尿病学会年次学術集会	内科医師	坂井洋子	
第5回思春期医学臨床講習会	小児科部長	合志光史	
第96回日本消化器病学会ポストグラデュエイトコース	診療部長	日高啓	6月24日

外来診療担当医表

受付時間：午前8時30分～午前11時00分

平成22年10月1日～

	月	火	水	木	金
内科	渡邊哲博	渡邊哲博	坂井洋子	坂井洋子	渡邊哲博
	坂井洋子				
循環器内科	小路高史	嶋田寿文	藤内竜夫	小路高史	藤内竜夫
				嶋田寿文	
消化器内科	横田昌樹	金山兼司	横田昌樹	金山兼司	山下晋作
	山下晋作	宜保淳也	山下晋作	宜保淳也	
神経内科					藤原寛功 10:00～
心療内科		山田祐 11:00～			
呼吸器内科					藤内研 10:00～
外科	北川大	岸原文明	岸原文明	池田正仁	白水章夫
	白水章夫	迫口太郎	白水章夫	岸原文明	迫口太郎
	平野誠太郎	岡田敏子	平野誠太郎	北川大	岡田敏子
			岡田敏子	岡田敏子	
呼吸器外科		福山康朗			福山康朗
泌尿器科	岩淵直人	岩淵直人	(手術日)	岩淵直人	岩淵直人
産婦人科	松本治伸	古川雄一	(手術日)	古川雄一	松本治伸
	古川雄一	松本治伸		佐藤新平	古川雄一
	吉松淳	吉松淳		松本治伸	吉松淳
放射線科	日高啓	日高啓	日高啓	日高啓	日高啓
	村木俊夫	村木俊夫	村木俊夫	村木俊夫	村木俊夫
	島本大	島本大	島本大	島本大	島本大
小児科	佐々木聡子	合志光史	佐々木聡子	伊藤創太郎	合志光史
	伊藤創太郎	花宮理比等	坪井千鶴	金海武志	伊藤創太郎
	坪井千鶴	川谷恵里	金海武志	川谷恵里	坪井千鶴
	金海武志	宮本辰樹	花宮理比等	宮本辰樹	佐々木 [1・3・5週]
	宮本辰樹				川谷 [2・4週]
小児外科	(手術日)	(手術日)	松尾進	松尾進	(手術日)
			三好きな	三好きな	
麻酔科	北佳奈子・今富良太				

■専門外来

小児心臓外来 (予約制)	毎月第1月曜日【午後】	担当：城尾邦隆・渡邊まみ江・合志光史
小児腎臓外来 (予約制)	毎月第3火曜日【午前】	担当：寺町昌史
小児内分泌外来 (予約制)	毎月第1水曜日	担当：吉村和子
小児神経外来 (予約制)	毎月第3水曜日	担当：藤田貴子
乳腺外来	毎週火曜日～金曜日	担当：岡田敏子
ペースメーカー外来 (予約制)	毎月第2金曜日	
緩和ケア外来 (予約制)	毎週水曜日【13:00～15:00】	担当：福山康朗

※ 小児科予防接種は、毎週木曜日【受付時間…14:30～15:30】です。

■紹介状の受付

診療連携室

TEL：0979-22-2836

FAX：0979-22-2448

発行/中津市立中津市民病院 編集/広報委員会

TEL：0979-22-2480【代表】 FAX：0979-24-3839【代表】